

## 6 - 5 山陰地域における最近の地震活動

### Recent Seismic Activity in the San'in District

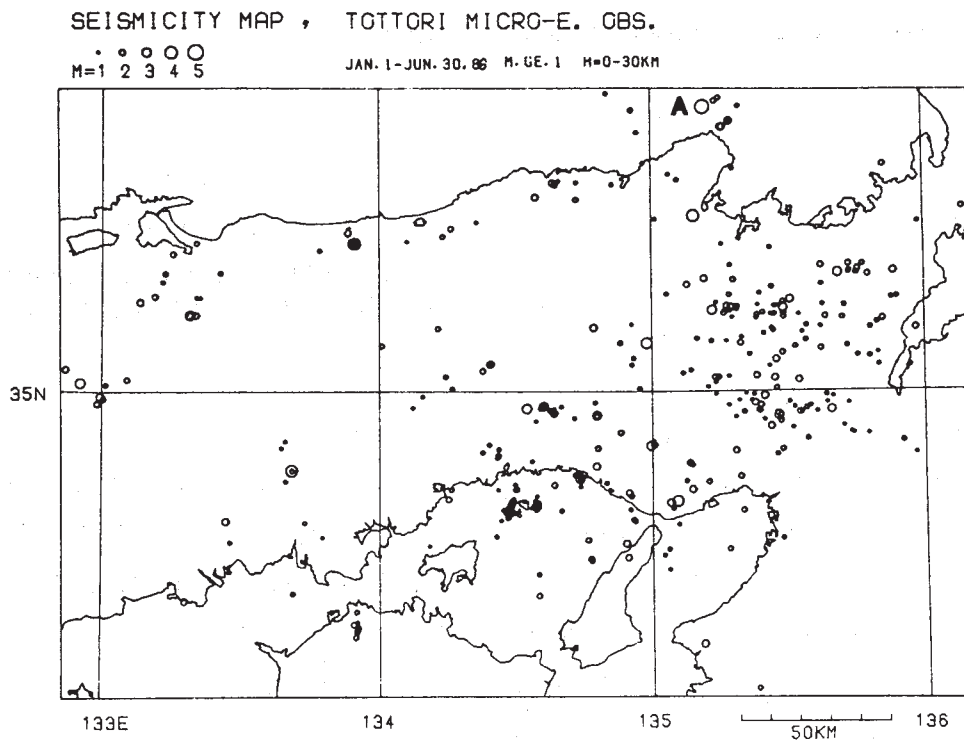
京都大学防災研究所

鳥取微小地震観測所

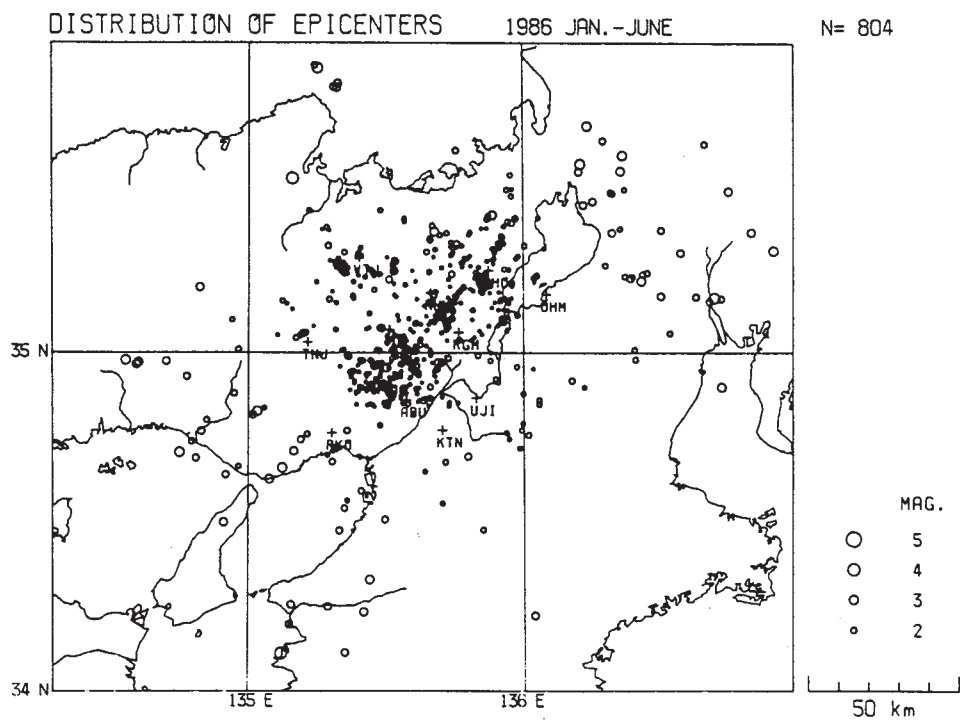
Tottori Microearthquake Observatory

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

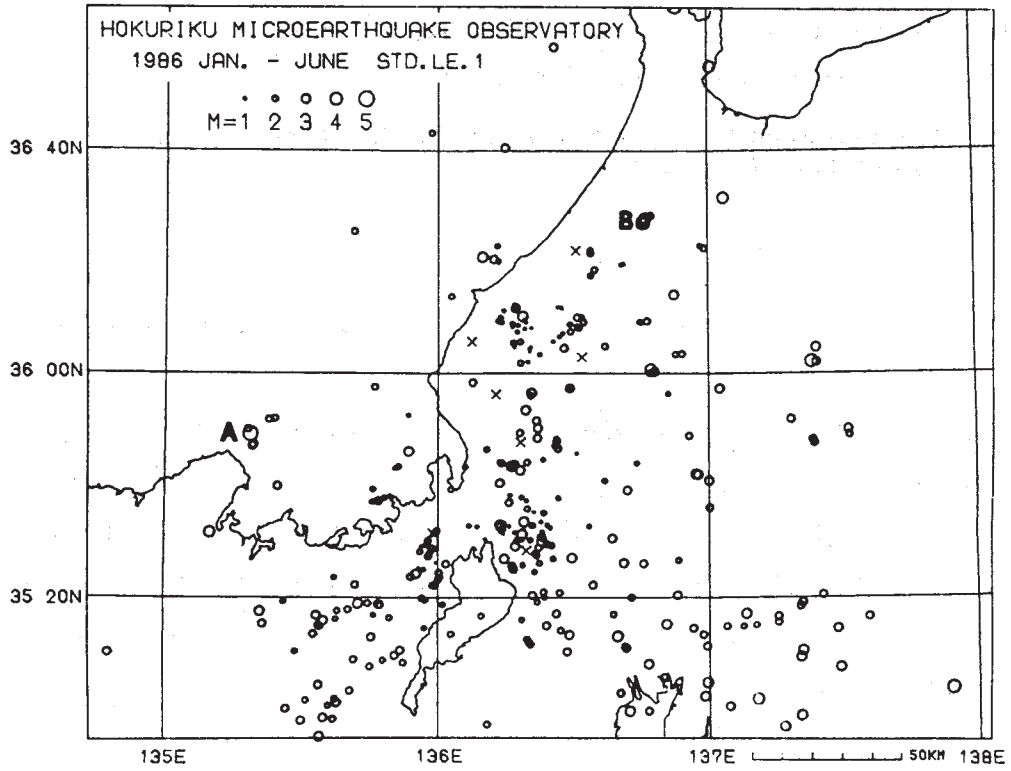
第1図の右下は、鳥取微小地震観測所でテレメーター観測が開始されて以来約11年間の震央分布図である。この地図の範囲をここでは一応山陰地域と呼ぶ。この範囲内にこの期間に起こったM5クラスの地震全部と、その他特に目立った地震活動を図に書入れてある。常時活発な活動を示している島根・広島県境（三瓶山周辺）の地震を除き、これらの地震の殆どすべてが最近約3年間に起ったことが判る。1983年の日本海中部地震を契機として、西南日本内陸の地震活動が一般に高くなったことが言われており、山陰地域の活動もその一環であるかも知れないが、いずれにしても、注目の必要があろう。



第 1 図 鳥取微小地震観測所による震央分布図 (1986 年 1 月 ~ 1986 年 6 月)  
 Fig.1 Seismicity map by the Tottori Microearthquake Observatory (January, 1986 - June, 1986).



第 2 図 阿武山地震観測所による震央分布図 (1986 年 1 月 ~ 1986 年 6 月)  
 Fig.2 Seismicity map by the Abuyama Seismological Observatory (January, 1986 - June, 1986).



第 3 図 北陸微小地震観測所による震央分布図 (1986 年 1 月 ~ 1986 年 6 月)

Fig.3 Seismicity map by the Hokuriku Microearthquake Observatory (January, 1986-June, 1986)